

宜野湾港は、沖縄本島中部の宜野湾市西側に位置する県内初の本格的公共マリナーであり、県民の海洋性レクリエーション活動の拠点となっている。

近くには、国際規模のコンベンション機能を備えた沖縄コンベンションセンターをはじめ、トロピカルビーチ(人工海浜)や海浜公園などが立地し、都市型のリゾート・ゾーンとして発展しつつある。

本港は、昭和59年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、これまでに、防波堤やマリナー等が整備され、現在約640隻のプレジャーボートが係留・保管が可能である。

今後、くし型浮棧橋の増設やマリナークレーンの設置等が計画されている。

■宜野湾マリナー施設概要

- ・海上係留バース 357艇
- ・陸上ヤード 275艇(ディンギー含む)
- ・有料駐車場 590台
- ・ベルトクレーン 15t/35t
- ・給油、給電、給水設備
- ・管理事務所、トイレ、シャワー、緑地公園

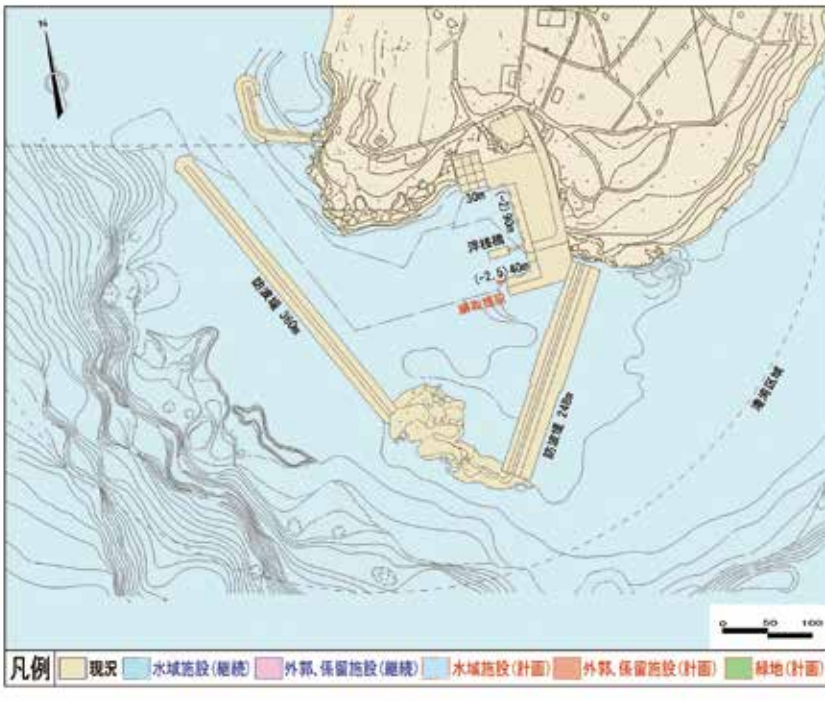
資料:宜野湾港マリナーHP



平成19年7月



昭和47年11月



徳仁港は、沖縄本島南部の知念岬東方約 5km の久高島(人口 244 人、島しょ別基本台帳人口 平成 29 年 1 月 1 日現在)の南側に位置する地方港湾であり、中城湾港(安座真地区)との間に定期フェリーと定期高速船が就航しているほか地元の小型船等が利用している。

本港は、昭和 47 年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、これまでに、係留施設、泊地、防波堤を始め、定期高速船のための浮棧橋等が整備された。今後、定期フェリーの大型化に伴い網取堤の整備が計画されている。



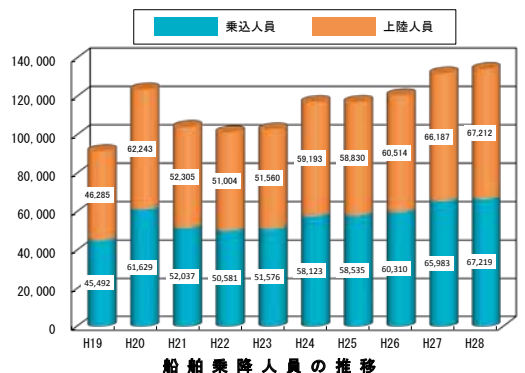
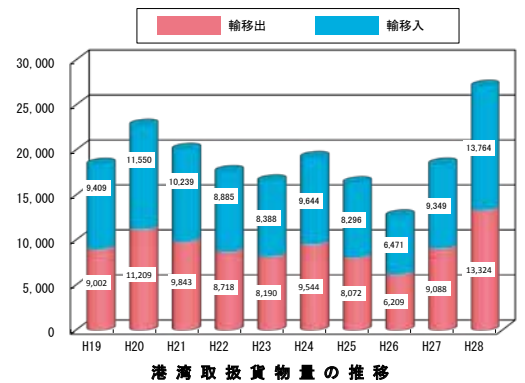
平成 19 年 2 月



昭和 47 年 11 月

【定期航路】

- ◇フェリー 久高/安座真 3 便/日
〔フェリーくだか 49G/T〕
- ◇旅客船 久高/安座真 3 便/日
〔ニューくだかⅢ 19G/T〕



兼城港(兼城地区) KANEGUSUKU PORT



港格	：地方港湾
港湾管理者	：沖縄県
所在地	：久米島町(久米島)
面積	：201ha
設立年月日	：昭和47年5月15日
港湾区域変更状況	：昭和59年7月24日



兼城港(兼城地区)は、沖縄本島の西方約100kmの久米島(人口8,024人、島しょ別基本台帳人口平成29年1月1日現在)の南西側に位置する地方港湾であり、那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーが2隻就航しているほか、地元の小型船等が利用している。

また、毎年、宜野湾港との間で行われるヨットレースやトロリング大会が開催されるなど海のイベントも盛んである。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、昭和59年に港湾区域の変更が行われた。これまでに、防波堤や岸壁、小船溜りのほか、耐震岸壁等が整備されている。

現在、定期フェリー用の岸壁と待合所の整備が進められている。

【定期航路】

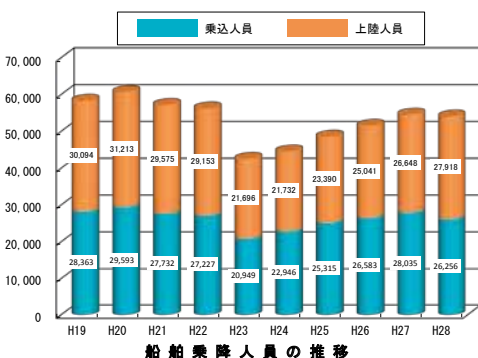
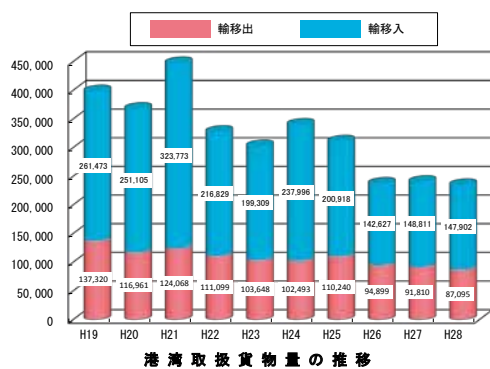
- ◇フェリー 泊/渡名喜/兼城 2便/日
- 〔ニューくめしま 679G/T〕
- 〔フェリー琉球 1188G/T〕



平成28年6月



昭和47年11月





平成 28 年 6 月 (花咲地区)



平成 28 年 6 月 (嘉手苜地区)



兼城港(花咲地区、嘉手苜地区)は、兼城港(兼城地区)の南東側に位置しており、花咲地区は砂・砂利、セメント等の建設資材や石油製品等の搬入、また砂糖の積み出しなどの際に不定期船が利用しており、嘉手苜地区は地元の小型船が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、昭和59年に港湾区域の変更が行われた。

これまでに、花咲地区では、危険物貨物とバルク貨物に対応するため、岸壁2バース、港湾施設用地、臨港道路、泊地、防波堤等が整備された。

また、嘉手苜地区では小型船の増加に対応して小船溜りの施設や防波堤等が整備された。

現在、花咲地区においては、岸壁、港湾施設用地、臨港道路が整備されている。



昭和 63 年度

栗国港 AGUNI PORT



栗国港

位置図

港 格：地方港湾
 港湾管理者：沖縄県
 所在地：栗国村(栗国島)
 面積：19ha
 設立年月日：昭和47年5月15日
 港湾区域変更状況：昭和61年5月13日

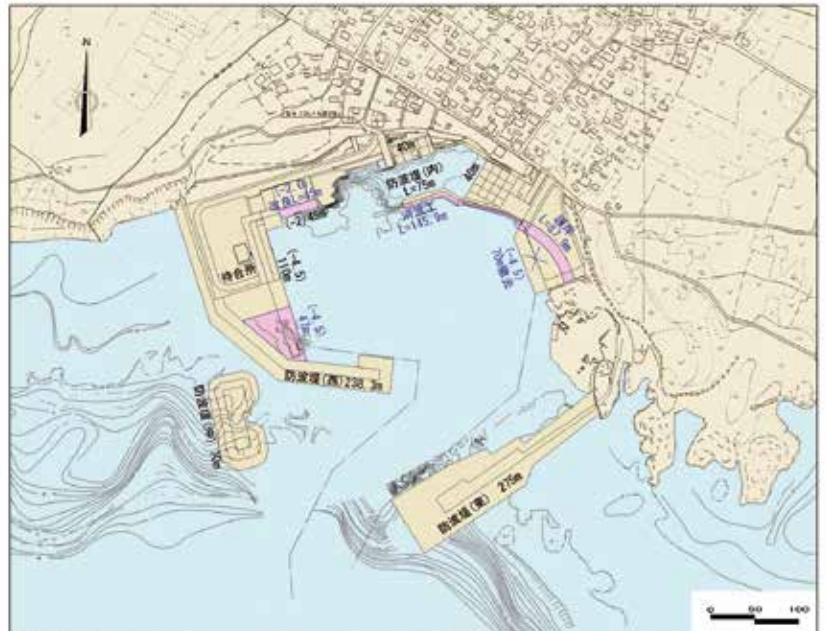
栗国港は、沖縄本島の西約60kmの栗国島(人口720人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の南側に位置する地方港湾であり、那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーが就航しているほか、地元の小型船等が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、昭和61年に港湾区域の変更が行われ、これまでに、防波堤、定期船対応の岸壁、不定期船対応の岸壁、小船溜りの施設等が整備されてきた。

しかし、港内静穏性が満足されておらず、現在、定期船の就航率向上および安全性の確保を目的とした静穏度向上対策の整備が進められている。

【定期航路】

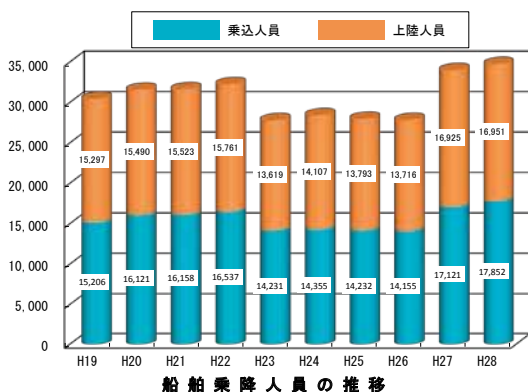
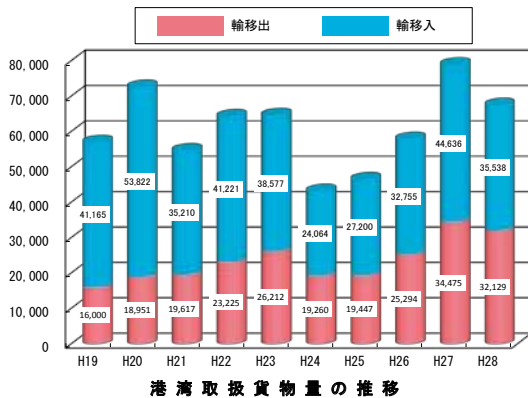
◇フェリー 泊/栗国 1便/日
[フェリー栗国 451G/T]



平成 21 年 5 月



昭和 56 年 3 月





平成 21 年 6 月



昭和 56 年 3 月

渡嘉敷港

TOKASHIKI PORT

位置図

港 格：地方港湾
 港湾管理者：沖縄県
 所在地：渡嘉敷村(渡嘉敷島)
 面積：88ha
 設立年月日：昭和47年5月15日

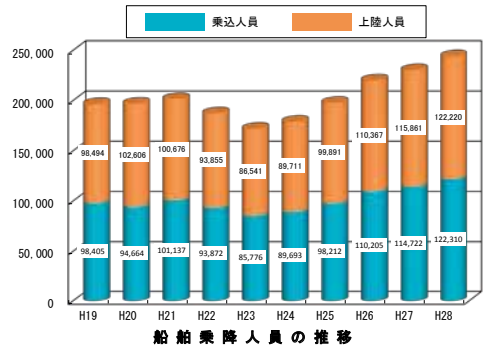
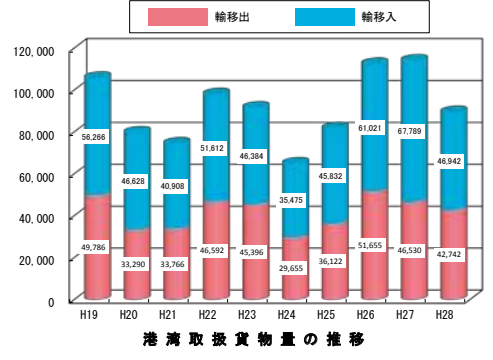
渡嘉敷港は、沖縄本島那覇の西方約30kmの渡嘉敷島(人口684人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の東側に位置する地方港湾であり、那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーと定期高速船が就航しているほか、地元の小型船等が利用している。また、ダイビングや冬場のホエールウォッチングを始め、島の自然を求めて訪れる観光客で賑わいを見せており、レクリエーション港湾としても位置付けられている。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、これまでに、防波堤、定期フェリーや不定期船対応の岸壁、小船溜りの施設、定期高速船対応の浮棧橋、待合所等が整備された。現在台風による高潮から小船溜り防護するため、防波護岸の嵩上げ改良が進められている。

【定期航路】

◇フェリー 泊/渡嘉敷 1便/日
 [フェリーとかしき 499G/T]

◇旅客船 泊/渡嘉敷 2便/日
 3便/日(4/29~5/6)、(7月~8月)
 [マリンライナーとかしき 123G/T]



座間味港 ZAMAMI PORT



格：地方港湾
 港湾管理者：沖縄県
 所在地：座間味村(座間味島)
 面積：42ha
 設立年月日：昭和47年5月15日



凡例 現状 水域施設(継続) 外郭、保留施設(継続) 水域施設(計画) 外郭、保留施設(計画) 緑地(計画)

座間味港は、沖縄本島那覇の西約40kmの座間味島(人口602人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の南側に位置する地方港湾であり、那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーと定期高速船が就航しているほか、地元の小型船等が利用している。

また、ダイビングや冬場のホエールウォッチングを始め、島の自然を求めて訪れる観光客で賑わいを見せており、レクリエーション港湾としても位置付けられている。

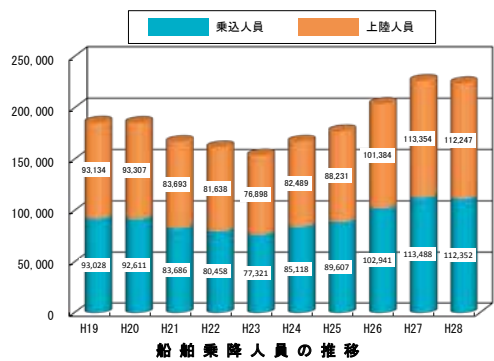
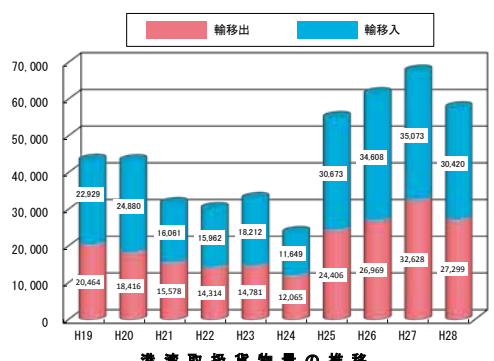
本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、これまでに、防波堤、定期フェリーや不定期船対応の岸壁、小船溜りの施設、定期高速船や遊漁船対応の浮棧橋、旅客待合所等が整備された。



平成 21 年 6 月

【定期航路】

- ◇フェリー 泊/座間味 1便/日
 [フェリーざまみ3 669G/T]
- ◇旅客船 泊/座間味 2便/日
 3便/日(4/29~5/5、7月~8月)
 [クイーンざまみ3 168G/T]



昭和 56 年 3 月



平成 15年 6月



昭和 52年 6月



慶留間港は、沖縄本島那覇の西方約40kmの慶良間諸島のひとつ慶留間島(人口66人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の南側に位置する地方港湾であり、以前は阿嘉島との連絡港、慶良間空港から他の島への連絡船の基地港として利用されていたが、平成10年に完成された阿嘉大橋の開通に伴ってその役割を終えた。現在は、地元の小型船が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾として指定され、平成元年に港湾区域の変更が行われた。これまでに、防波堤、物揚場、船揚場が整備されてきた。

今後、小船溜りの静穏性を高める波除堤等が計画されている。

港湾関連用語解説

●ガントリークレーン gantry crane

橋桁の両端に一定の間隔をおいて2本の走行脚を設け、車輪により地上のレール上を走行する構造のクレーン。橋桁の上をトロリー又はジブクレーンが往復して、貨物の積み卸しを行う。橋桁を走行脚の外側に張り出すことで、貨物の積み卸し範囲を広くできる特徴を持つ。コンテナ埠頭に設置されるものが代表的。

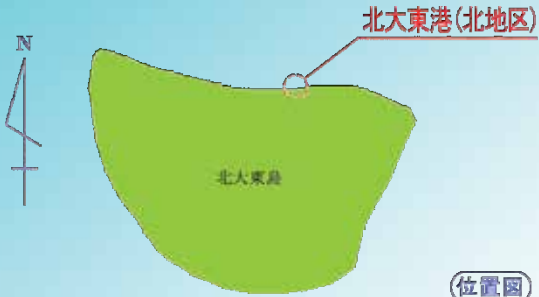
●ストラドルキャリア straddle carrier

クレーンによって船舶に積み卸しされるコンテナをコンテナヤードとの間で運搬するトラック。コンテナをヤードに多段積みしたり、シャシに直接積み卸しできる。マントン社のホノルル港ダイヤモンドヘッドターミナルで初めて採用された。

●トランスファークレーン transfer crane

コンテナヤード内でコンテナを多段に積み重ねたり、シャシへの積み卸しを行う橋型クレーン。タイヤ式と軌道走行式がある。岸壁とヤード間はシャシによってコンテナを運搬する。アムステルダム港で初めて採用された。

北大東港(北地区) KITADAITOU PORT



港格	：地方港湾
港湾管理者	：沖縄県
所在地	：北大東村(北大東島)
面積	：84ha
設立年月日	：昭和47年5月15日
港湾区域変更状況	：平成12年4月 1日

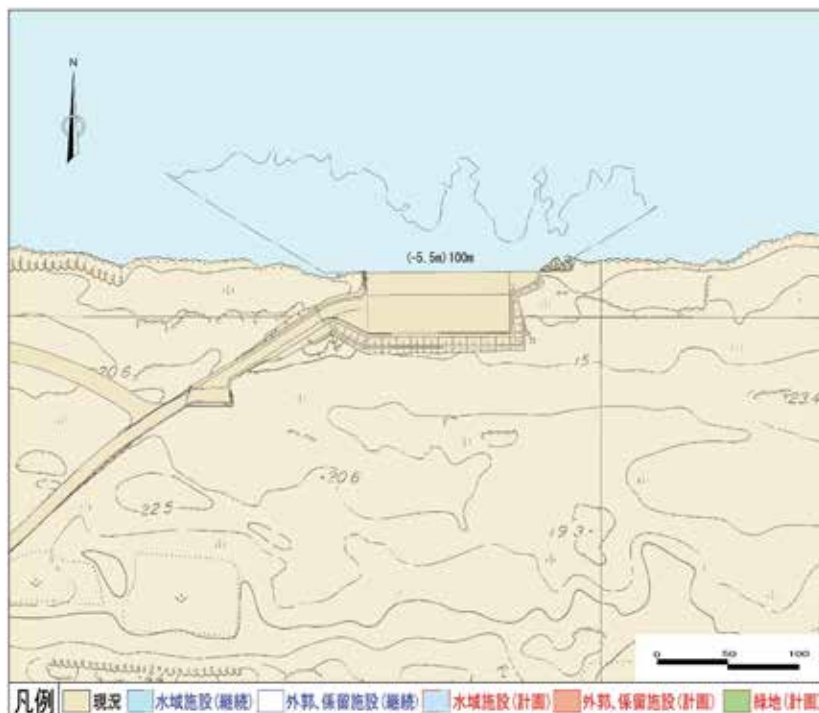
北大東港(北地区)は、沖縄本島の東方約360 kmにある沖縄県最東端の北大東島(人口576人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の北側に位置する地方港湾であり、那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーが就航しているほか、砂糖の積み出しや建設資材の搬入を行う不定期貨物船等が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾(北港)として指定され、平成12年2月に西港、江崎港を含めて北大東港に統合された。

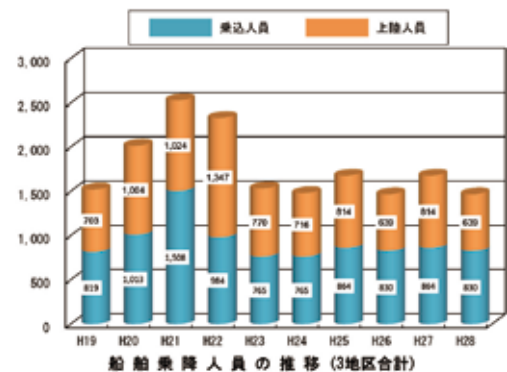
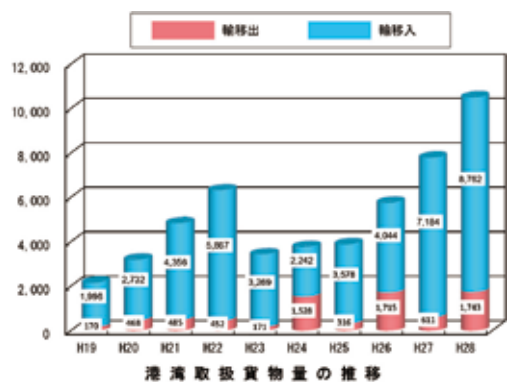
これまでに、-5.5m岸壁1バース、港湾施設用地、臨港道路、泊地、係船浮標等が整備されている。

【定期航路】

◇貨客船 泊/南北大東 75便/年
[だいとう 690G/T]



平成 24 年 1 月



昭和 56 年 4 月



北大東港(西地区) KITADAITOU PORT

北大東港(西地区)

北大東島

位置図

港	格：地方港湾
港湾管理者	沖縄県
所在地	北大東村(北大東島)
面積	84ha
設立年月日	昭和47年5月15日
港湾区域変更状況	平成12年4月1日

北大東港(西地区)は、北大東島の西側に位置し、他地区と同じく那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーが就航しているほか、不定期貨物船等が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾(西港)として指定され、平成12年2月に北港、江崎港を含めて北大東港に統合された。

これまでに、-5.5m岸壁2バースや係船浮標、緑地等が整備されており、今後は、北地区や江崎地区同様に荷役の作業効率向上を目的とした-5.5m岸壁の嵩上改良および台船用の斜路岸壁等が計画されている。

【定期航路】

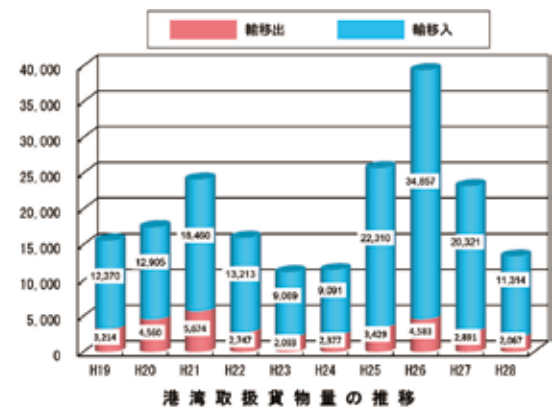
◇貨客船 泊/南北大東 75便/年
[だいとう 690G/T]



平成26年3月



昭和56年4月



北大東港(江崎地区) KITADAITOU PORT



北大東港(江崎地区)

位置図

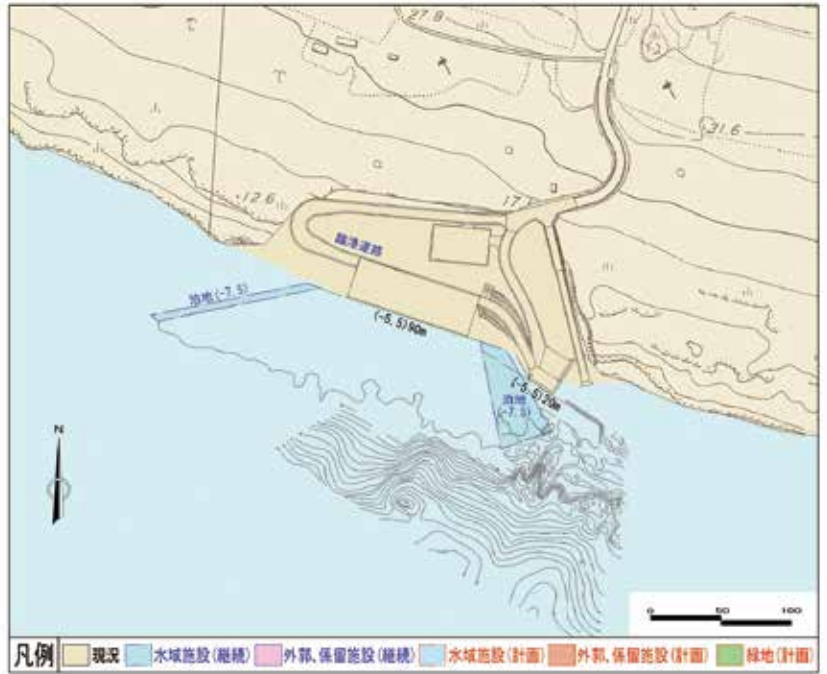
港格	地方港湾
港湾管理者	沖縄県
所在地	北大東村(北大東島)
面積	84ha
設立年月日	昭和47年5月15日
港湾区域変更状況	平成12年4月1日

北大東港(江崎地区)は、北大東島の南側に位置し、他地区と同じく那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーが就航しているほか、不定期貨物船等が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾(江崎港)として指定され、平成12年2月に北港、西港を含めて北大東港に統合された。

これまでに、-5.5m岸壁1バース、泊地、係船浮標等が整備されている。

現在、荷役作業効率向上を目的とした-5.5m岸壁の嵩上改良の整備が進められている。



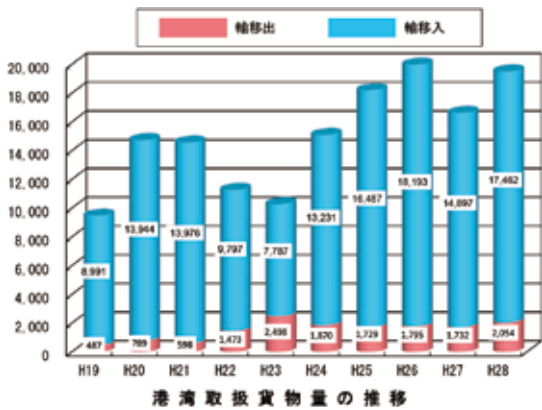
平成 26 年 3 月

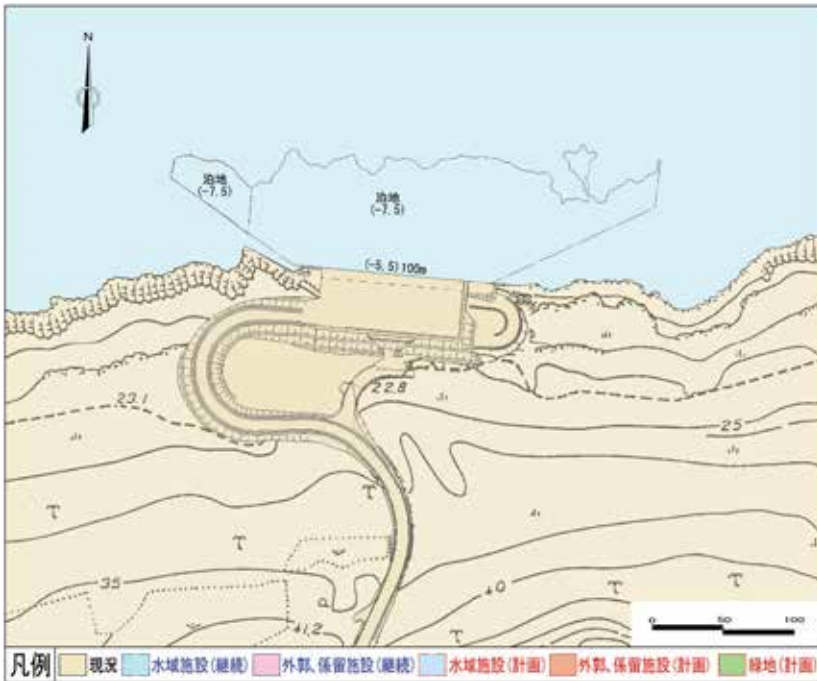


昭和 47 年 11 月

【定期航路】

◇貨客船 泊/南北大東 75 便/年
[だいとう 690G/T]





南大東港(北地区) MINAMIDAÏTOU PORT

南大東港(北地区)

南大東島

位置図

港 格：地方港湾
 港湾管理者：沖縄県
 所在地：南大東村(南大東島)
 面積：95ha
 設立年月日：昭和47年5月15日
 港湾区域変更状況：平成12年4月1日



平成 24 年 1 月



昭和 56 年 4 月

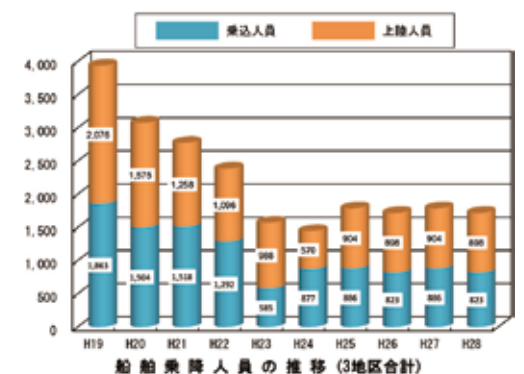
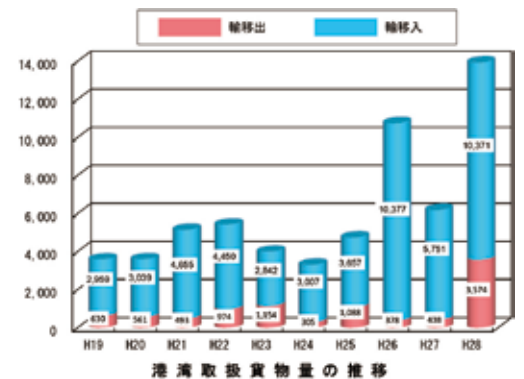
南大東港(北地区)は、沖縄本島から東方約400kmの南大東島(人口1,247人、島しょ別基本台帳人口 平成29年1月1日現在)の北側に位置する地方港湾であり、那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーが就航しているほか、砂糖の積み出しや建設資材の搬入を行う不定期貨物船等が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾(北港)として指定され、平成12年2月に西港、亀池港を含めて南大東港に統合された。

これまでに、-5.5m岸壁1バース、泊地、係船浮標等が整備されている。

【定期航路】

◇貨客船 泊/南北大東 75 便/年
 [だいたう 690G/T]



南大東港(西地区) MINAMIDAITOU PORT



港 格: 地方港湾
港湾管理者: 沖縄県
所在地: 南大東村(南大東島)
面積: 95ha
設立年月日: 昭和47年5月15日
港湾区域変更状況: 平成12年4月 1日

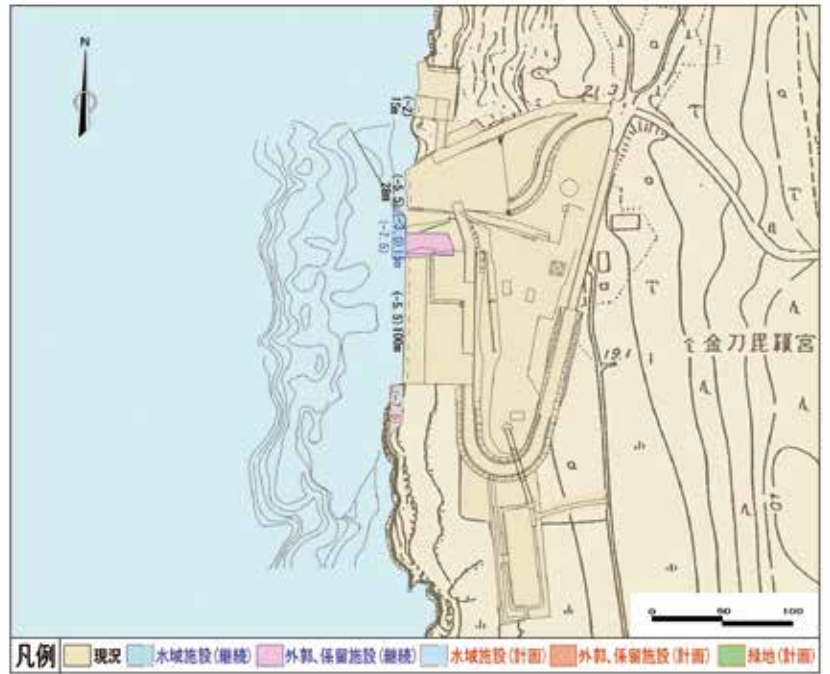
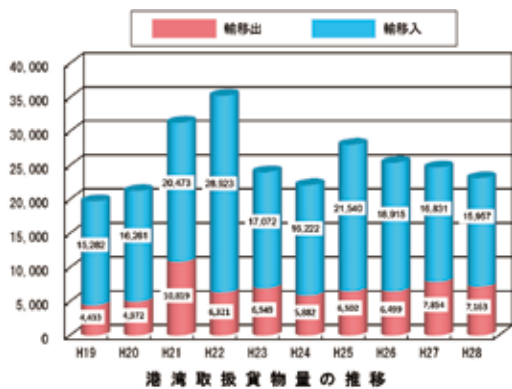
南大東港(西地区)は、南大東島の西側に位置し、他地区と同じく那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーが就航しているほか、不定期貨物船等が利用している。

本港は、昭和 47 年に沖縄県管理の地方港湾(西港)として指定され、平成 12 年 2 月に北港、亀池港を含めて南大東港に統合された。

これまでに、-5.5m 岸壁 2 バースや係船浮標、緑地等が整備されており、現在、新たに、台船用岸壁の整備が進められている。また、今後は北地区や亀池地区同様に、荷役の作業効率向上を目的とした-5.5m 岸壁の嵩上改良等が計画されている。

【定期航路】

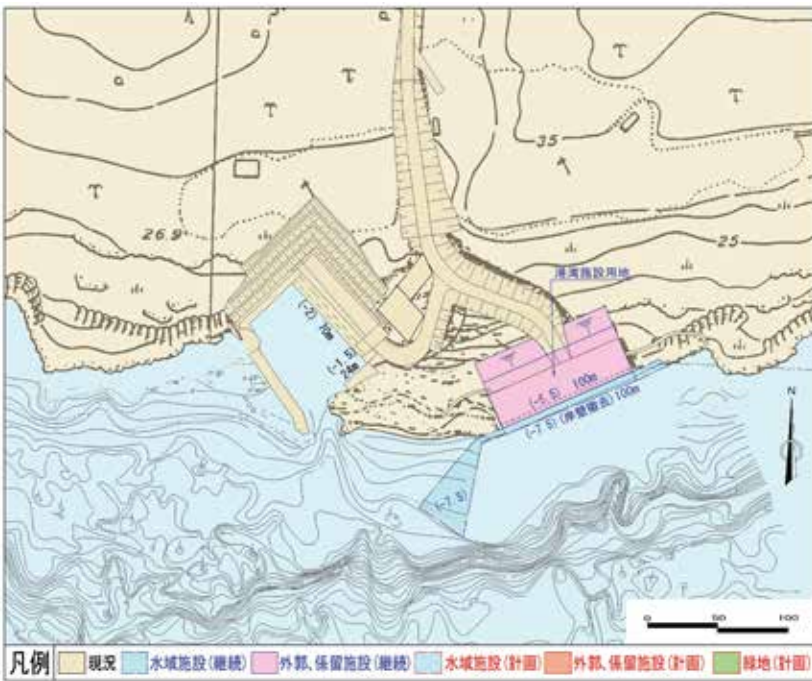
◇貨客船 泊/南北大東 75 便/年
[だいとう 690G/T]



平成 26 年 3 月



昭和 56 年 4 月



平成 26 年 3 月



昭和 56 年 4 月

南大東港(亀池地区) MINAMIDAITOU PORT

位置図

格：地方港湾
 港湾管理者：沖縄県
 所在地：南大東村(南大東島)
 面積：95ha
 設立年月日：昭和47年5月15日
 港湾区域変更状況：平成12年4月1日

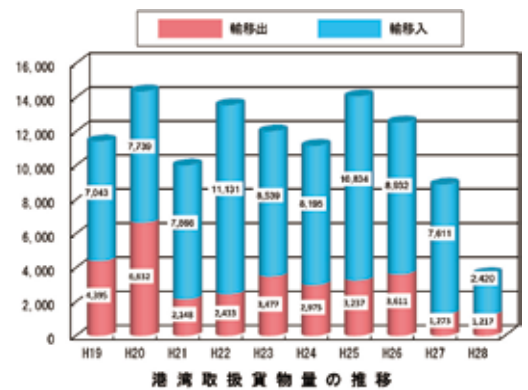
南大東港(亀池地区)は、南大東島の南側に位置し、他地区と同じく那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーが就航しているほか、不定期貨物船等が利用している。

本港は、昭和47年に沖縄県管理の地方港湾(亀池港)として指定され、平成12年2月に北港、西港を含めて南大東港に統合された。

これまでに、-5.5m岸壁1バースや係船浮標、小型船溜りの施設等が整備されてきたが、岸壁施設はたびたび被災を受けてきた。現在、荷役作業と施設の安全を確保するための-5.5m岸壁1バースや施設用地拡張の整備が進められている。

【定期航路】

◇貨客船 泊/南北大東 75 便/年
 [だいとう 690G/T]



■徳仁港 浮棧橋

徳仁港は、中城湾港(安座真地区)との間に定期船が就航しており、これらの施設を整備することにより、観光客及び地域住民の利便性や快適性が向上し、観光客増大による観光振興が図られることが期待されている。



■渡嘉敷港 浮棧橋

渡嘉敷港は、那覇港(泊ふ頭地区)との間に定期旅客船が就航しており、これらの施設を整備することにより、観光客及び地域住民の利便性や快適性が向上し、観光客増大等による観光及び離島振興が図られることが期待されている。

■座間味港 浮棧橋

観光客の多く訪れる座間味島の座間味港には、那覇港(泊ふ頭)との間に定期旅客船が就航しており、これらの施設を整備することにより、観光客及び地域住民の利便性や快適性が向上し、観光客増大等による観光及び離島振興が図られることが期待されている。





■徳仁港 浮棧橋

徳仁港は、中城湾港(安座真地区)との間に定期船が就航しており、これらの施設を整備することにより、観光客及び地域住民の利便性や快適性が向上し、観光客増大による観光振興が図られることが期待されている。

■大東島における荷役風景

急峻な地形により、外郭施設の整備が困難なため、船舶は直接接岸できず高い岸壁からクレーンによって人員の乗降や荷役作業を行っている。



■波浪が襲う大東島

海底地形が急峻で、外海に面した大東島では、防波堤などの外郭施設の整備が困難なため、台風時には波浪が直接岸壁を襲っている。

南大東港(西地区)：平成24年8月撮影

(南大東村役場提供)